

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆国内の不動産投資、4～6月は1兆円超 オフィス・物流に賃料上昇期待

・不動産サービス大手のシービーアールイー(CBRE、東京・千代田)がまとめた4～6月期の国内の事業用不動産の投資額(10億円以上が対象)は前年同期比17%増の1兆1210億円だった。オフィスビルや物流施設での賃料上昇を期待した投資などがけん引し、4～6月期としては2007年以来19年ぶりに1兆円を超えた。

◆債券15時 長期金利、一時2.830%に上昇 5年金利は2.090%で過去最高

・国内債券市場で長期金利は上昇(債券価格は下落)。指標となる新発10年物国債の利回りは一時、前週末比0.040%高い2.830%で取引された。日米両政府が協調して為替介入を実施したことが明らかになり、日銀の利上げ観測が強まった。金融政策の動向を反映しやすい中期債に売りが膨らみ、長期金利を押し上げ。

◆国債の相続税軽減案に批判 NISA組み入れ、富裕層の節税色強く

・財務省は2026年中にも個人向け国債の商品性見直しの具体案をまとめる。与野党から相続税を軽減する案が浮上しており、年末の税制改正で論点となる可能性がある。家計の金融資産の底上げにつながるとの期待がある半面、投資対象の偏りや不公平な税優遇を招くなどの批判が生じている。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆鉄スクラップ相場が下落基調に 海外安・内需停滞、鋼材値上げに逆風

・鉄鋼の原料となる鉄スクラップの国内取引価格が下落基調に転じる。指標品種の価格は約1カ月で3%下げた。輸出相場下落や国内の鋼材需要の停滞を背景に昨秋からの上昇が一服。鋼材の値上げにはマイナス材料。電炉の鉄鋼メーカーによる「H2」といわれる主要品種の買値は現在、東京地区で1トン5万500円。7月中旬に比べ約1750円(3%)安い。

◆「フラット35」8月の最低金利3.29%、2カ月ぶりに上昇

・住宅金融支援機構は住宅ローン「フラット35」取扱金融機関が適用する8月の融資金利を発表。返済期間21年以上35年以下の最低金利は、融資率9割以下が3.29%、9割超が3.40%と、いずれも前月から0.15ポイント上がり、2カ月ぶりに上昇。最高金利は、9割以下が5.57%、9割超が5.68%と、前月から0.17ポイント上昇。

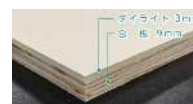
◆ダイキン、熊本地震被災の空調製品を無償点検 修理作業費は半額に

・ダイキン工業は令和8年熊本地震で被害を受けた同社空調製品を対象に、無償点検と修理費用の特別対応を実施すると発表。対象は災害救助法の適用を受けた熊本県内の10市・10町・1村で10月31日まで受け付け。今回の地震によって転倒などの被害を受けたダイキン製空調機器。一次点検を無償で実施、サービス作業費を通常料金の50%で対応。

《 注目商品 》

■DAIKEN、不燃性能とビス保持力を両立した壁下地材

・基材に独自の無機素材「ダイライト」を使用し、国産合板を組み合わせた不燃性能を持つ壁下地材。国土交通大臣不燃材料 NM-5828(2)を取得し、手のこなどで切断できる優れた加工性を備える。耐荷重試験では、2枚張りの場合と比較して、約3.5倍の優れた耐荷重性能を確認。



■TOOLBOX、個室と開放感を両立する木製室内窓

・細い木製フレームと大きなガラス面により、壁で仕切られた空間に、光と視線の抜けを生み出し、個室に開放感をもたらす。開き方は「片引きタイプ」「片開きタイプ」「引き違いタイプ」の3タイプ。必要に応じて開閉でき、外気やエアコンの風を壁の奥まで届けることができる。



■テスラ、家庭用蓄電池「Powerwall 3」

・家庭用蓄電池の次世代モデル Powerwall 3を日本で販売開始。テスラが培ってきた電気自動車と蓄電の技術を結集した、全米シェアNo.1の家庭用蓄電システム、Powerwall 3は太陽光発電で作った電気をより効率的に蓄え夜間や停電時に自宅へクリーンなエネルギーを供給

